



# ストリートチルドレン芸術祭

Art of the Children Living on the Street  
-あなたがいてくれてよかった-

## 2016年度 活動報告書

(2016年4月～2017年3月)



ストリートチルドレン芸術祭  
2017年（平成29）年3月

# 目次

1. ごあいさつ .....	3
2. ストリーチルドレン芸術祭とは .....	4
3. 2017年版カレンダー制作について .....	7
4. 2016年度活動概要 .....	10
5. 2016年度会計報告 .....	15
6. おわりに .....	16



## ご あ い さ つ

2016年度の活動発足に辺り、昨年度の反省を活かした活動にしていくことを確認しました。まず一点は、実行委員会開催の折に学習会を行うこと。第2点は、チャリティカレンダーを国見祭までに完成させること。この2点を実行することができました。いつもの年より、カレンダー販売は1ヶ月以上早まり、その成果が、販売部数に表れることを期待しましたが、現実には思う通りにはいきません。しかし、毎年購入頂いている支援者の方々には、ご迷惑をおかけせずに済みましたが、何よりの成果でした。

さて、今年度も東北福祉大学国際ボランティアサークルの学生を中心に、カレンダー完成報告会、ストリートチルドレン絵画展、スタディツアー等の活動を推進して参りましたが、その中で課題が明らかになりました。カレンダー販売の努力不足、イベントへの周知徹底や集客へ向けての広報の在り方などです。せっかくの内容ある報告会が、身内のみでは、盛り上がりには欠けてしまいます。今後の課題として取り組んでいきたいと考えます。

現在に至るまで、わたしたちにできることとして、紆余曲折しながらも、多くの方々の協力でカレンダー制作を継続してきました。売上げから印刷費を除いた収益を、支援金としてストリートチルドレンへ届けてきました。その支援金の活用については、

- ・ バングラデシュ・エクマツラでは、子どもたちの進学資金、エクマツラアカデミー建設資金
- ・ ベトナム子どもの家では、子どもたちに生活支援や教育支援
- ・ カンボジアの愛センターでは、新しい教室設置や遠足資金等
- ・ モンゴル子供支援団体（代表江口喜多枝氏）へ教育支援
- ・ チベット子ども支援（教育・生活）としてメンバーが届けてきました
- ・ その他、タンザニア、ザンビア、インドネシアの子どもたちに、支援団体を通じて教育支援

今後も、支援金をどのように活用されているか、支援団体を通してアンケート調査するなどして、具体的に把握していきます。これからも無理をせず、できる範囲内でできることを進めていきます。相手意識を持って、相手がいて私がいる、関わりを持つことで、活動の一步が踏み出せる。という思いで行きたいです。

2017年度活動に向けて、すでに学生中心に取り組み始めています。3月11日に行われた実行委委員会で話し合われた事項を、一つ一つ確実に実行していき、ご支援ご協力下さる皆様方のご期待に応えるべく努めて参ります。2016年度活動報告を兼ねまして、2017年度へ向けての活動のごあいさつとさせていただきます。

2017年4月吉日  
ストリートチルドレン芸術祭代表 中島洋一郎

## 2. ストリートチルドレン芸術祭とは

今日、世界では貧困、紛争、虐待など様々な理由により住む家がないため、路上生活を余儀なくされているストリートチルドレンといわれる子どもたちが 1 億人いると言われていています。彼らは生きるために、学校へ通うこともできず、ゴミを拾いお金に換えたり、物乞いしたりすることで日々を懸命に生きています。さらに、彼らは飢餓の危険に直面しているだけでなく、誘拐されて子ども兵として戦場に送り込まれる、臓器を奪われる、性的な被害に遭うなど、さまざまな脅威にさらされています。

『ストリートチルドレン芸術祭』が誕生したのは 2005 年のことでした。路上で暮らす子どもたちをただ単にかわいそうと見るのではなく、彼らの描く絵を通じて、彼らの存在や思い・感性・可能性を一人でも多くの人々に実感してもらえたらという願いから、ストリートチルドレンに特化した芸術祭を開催する組織として世界で初めて誕生しました。ストリートチルドレン芸術祭は有給スタッフ不在の無償ボランティア団体です。当初は熱海市立小嵐中学校の生徒・教職員のほか、各地の小中学校の教員、国際協力関係の団体職員、会社員、主婦、大学生、高校生など、内外 30 名ほどのスタッフで構成されていました。世界 100 か国以上に広がる国際協力機構（JICA）のネットワークや NGO 団体、世界の若者たちのネットワークなどの協力を得て、世界の子どもたちの絵は集められています。

東京に本部を置く『ストリートチルドレン芸術祭実行委員会』が制作するチャリティカレンダーは、ヤンキース松井秀喜選手、女優の藤原紀香ら、各界の著名人と静岡の中学生たちが、子どもたちのために掲載用の作品を無償で選出したのがはじまりでした。これまでに世界中の子どもたちから 1000 点を超える作品が寄せられてきました。ここで得られた収益はストリートチルドレン支援をしている現地 NGO 協力のもと、こどもたちの自立支援や生活改善、学校へ行くための費用などに活用されています。

そして、芸術祭の趣旨に賛同した東北福祉大学・生田目学文ゼミが 2007 年からカレンダー作りに参加したのが、私たち東北支部のはじまりです。3 年間のゼミ内での活動を経て 2010 年からは大学公認の国際ボランティアサークルとして、より多くの学生が活動に加わり、活動範囲も広がりました。また 2011 年からは、多くの方々にご協力いただきながら、東北支部の学生が主体となってカレンダー制作、販売ならびに世界中の子どもたちが描いた絵の展示会などを行っております。

2005 年から活動が始まったストリートチルドレン芸術祭は今年で 12 年目を迎えました。2017 年度も、チャリティカレンダー制作や原画展、イベント参加等による啓発活動を通して、ストリートチルドレンや世界中で支援を必要としている子どもたちの思いや存在を、ひとりでも多くの方々へお伝えし、活動の更なる発展を目指していきたいと考えております。

### ○活動の趣旨

この一枚の絵は、私たちストリートチルドレン芸術祭の活動の原点です。

「将来自分が住みたい家」というテーマで、多くの子どもは田園風景に広がる小さな家を描く中、彼だけが、お母さんのお腹の中にいる胎児を描きました。彼は、「だって自分が15年間生きてきた中でここが一番安全だから...。」というコメントを寄せました。



作者：ジェyson（男子）  
（2005年作品 提供時15歳）  
国：フィリピン

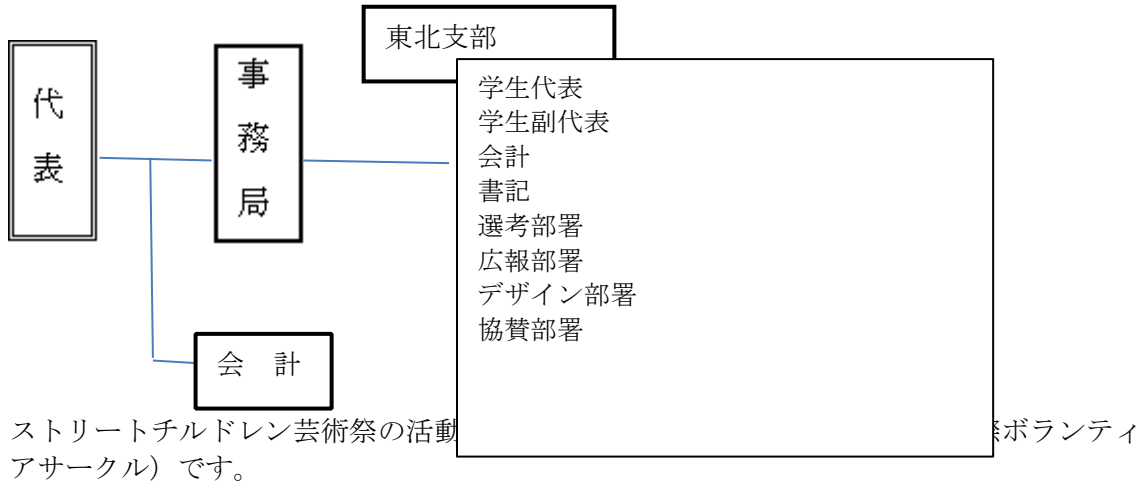


## 『世界の子どもたちが安心して暮らせる安全な環境』

ストリートチルドレンをはじめ様々な困難な環境のもと生きている子どもたちが描く絵を通して、彼らの存在、思い、可能性をより多くの方にしっていただき、世界の子どもたちが安心して暮らせるような環境づくりのための支援活動を行うことを目的としています。

○組織概要

ストリートチルドレン芸術祭組織図



### 3. 2017年版チャリティカレンダー制作について

私たちは路上生活を強いられているストリートチルドレンと呼ばれる子どもたちの支援を行うことを目的とし、チャリティカレンダーを制作しています。

2017年版チャリティカレンダーのテーマは「自分自身を描く～自分の姿や生活・人生を表現しよう～」です。今まで数多くのストリートチルドレンの子どもたちに絵を描いてもらい、彼らの思いが詰まったカレンダーを制作してきました。そんな絵を描いてくれている子どもたちはどのような環境で生活を送っているのでしょうか。子どもたち自身が感じているありのままの姿をたくさんの人に知ってもらうことで、自分自身を描いてもらうことで少しでもその実情を知ることが出来ると思います。子どもたちを支える力が大きくなることを願っています。

今回、子どもたちが描いた数多くの絵の中から、カレンダーに掲載した、表紙・各月を合わせた13枚の絵を、各界の著名人や国際協力・支援に携わっている方など、幅広い分野の方々13名に選んでいただきました。また、子どもたちが描いた絵に対してのコメントもいただき、併せて掲載させていただきました。

子どもたちの思いや、絵を選考していただいた方々の思いを、是非受け取っていただきたいです。

#### ○2017年度版チャリティカレンダー 絵の募集先について

チベット子ども村 [TCV] (インド・ダラムサラ)
愛センター (カンボジア)
孤児たちの希望 (ザンビア)
モンゴル子ども支援ネットワーク [IVNMC] (モンゴル)
子どもたちの希望の家 (インドネシア)
ベトナムの子どもの家を支える会 (ベトナム)
エクマットラ (バングラディシュ)

2017年版チャリティカレンダーの制作に伴い、上記の7カ国7施設に絵の募集をかけ、計122点の絵が集まりました。



○2017年度チャリティカレンダー 選考者紹介

月	選考者	活動内容
1月	尾木 直樹さん	教育評論家
2月	木村 裕一さん	絵本・童話作家
3月	谷口 真人さん	アーティスト
4月	ボーダレスソサエティ	東北福祉大学・国際ボランティアサークル・途上国のこどもたちへ絵本の翻訳・寄贈等の活動を行う
5月	門馬 優さん	NPO法人「TEDIC」代表・宮城県石巻市において地域の子ども・若者へ教育支援を行う
6月	IVY Youth	国際協力NGO「IVY」[International Volunteer Center of Yamagata]のユースボランティア団体
7月	イルカさん	シンガーソングライター・絵本作家 IUCN 国際自然保護連合親善大使
8月	北村 元さん	国際協力NGO「愛のベトナム支援隊」代表・ベトナム枯葉剤被害者の支援を行う
9月	熱海中学校福祉委員会	地域社会貢献活動。エコキャップ回収やボランティア清掃など
10月	大脇 崇さん	写真家
11月	榎本 孝明さん	俳優
12月	佐々木 ひでおさん	口筆詩画家

2017年版チャリティカレンダーに使用された絵は、上記13名の方に選考していただきました。

## ○2017年度版チャリティカレンダーのご紹介



### ◎2017年度版チャリティカレンダー 表紙

作品のタイトル： 「喜びと幸せ」

作者： **Tenzin Kunchok** くん (11歳・男の子/インド在中チベット)

絵を描いた理由： 悲しみに暮れているさまざまな国や人々に、喜びと幸せを届けるために描きました。



### 2017年度チャリティカレンダー 6月

作品のタイトル： 「いろんな私」

作者： **MST. LAMIA AKTER** ちゃん (10歳・女の子/バングラデシュ)

絵を描いた理由： 泣いている私も怒っている私も私だから。

## 4. 2016 年度活動概要

### 1 せんだい地球フェスタ

毎年宮城県仙台市で行われる、様々な国際交流・国際協力団体が集まるイベントです。こちらでは原画の展示に加え、子どもたちの絵を使ったパズルや国旗のカードゲームなど子どもたちが遊べるブースを出展しました。

開催日時：2016年10月10日(月・祝) 場所：仙台国際センター（宮城県仙台市）



### 2 東北福祉大学学園祭「国見祭」

原画展をメインに、子どもたちの絵を使ったパズル、国旗のカードゲーム等を実施いたしました。また2017年版チャリティカレンダーの販売も行い、学生をはじめ、多くの方々にお越しいただきました。

開催日時：2016年10月22日(土)・23日(日) 場所：東北福祉大学（宮城県仙台市）



### 3 第8回くにみ街道まつり

東北福祉大学が主催する地方創生事業のイベントにてブースを設けさせていただき、原画の展示と2017年版チャリティカレンダーの販売を行いました。大学周辺地域の方々をはじめ、多くの方々にご来場いただきました。

開催日時：2016年10月30日(日) 場所：東北福祉大学 ステーションキャンパス  
(宮城県仙台市)



④ 2016年版チャリティカレンダー街頭販売会

今年度も、仙台の老舗百貨店である、仙台藤崎百貨店様のご協力をいただき、街頭販売会を行わせていただきました。多くの方々にカレンダーを手にとって頂き、ストリートチルドレン芸術祭の活動について知っていただける機会となりました。

開催日時：2015年11月5日(土)・6日(日) 場所：仙台藤崎百貨店(宮城県仙台市)



⑤ 東北福祉大学東口キャンパス 原画展

毎年100点以上の原画が集まりますが、カレンダーへ選ばれるのはその中の13点だけです。しかし、作品の中にはまだまだ素晴らしいものがたくさんあります。カレンダーに選ばれなかった作品も多くの方に見ていただきたい、そして彼らの思いを伝えたいという思いから、直接見て、感じられる原画展を開催しております。

開催日時：2016年12月3日(土) 場所：東北福祉大学東口キャンパス(宮城県仙台市)



⑥ 2017年版チャリティカレンダー完成報告会

チャリティカレンダー完成報告会では、活動報告及びカレンダー完成報告、ストリートチルドレンについてのプレゼンテーションを行いました。また、ご来場いただいた方々に実際に絵を選考していただき、選んだ理由などそれぞれの選んだ絵に対する思いを話し合う場を設けました。

開催日時：2016年12月4日(日) 場所：東北福祉大学東口キャンパス（宮城県仙台市）



## ○カンボジア・スタディツアー

2016年度ストリートチルドレン芸術祭スタディツアーは、カンボジアで行われました。スタディツアーを実施にするにあたり、私たちの支援先であり、絵のご協力をいただいているカンボジアのフリースクール「愛センター」を主催する渡辺藍さん、佐々木唯さんのご協力をいただきました。

活動は「愛センター」への支援と交流を中心に、プノンペン市内の水上学校、郊外の小学校訪問など、彼らの生活の現状を知るとともに、カンボジアの教育の実態についても触れることができました。「愛センター」では子どもたちと歌を歌ったり、日本の遊びをしたり、一緒に愛センターの看板を描いたりと様々な企画を通し、子どもたちと触れ合うことができました。他にも、世界遺産のアンコールワットや地雷博物館など、カンボジアの文化や歴史について触れ、多くの学びを得ることができました

開催日時：2016年12月23日(金)～29日(火)



※郊外の小学校と愛センターに送った支援物資は、「日本財団学生ボランティアセンター Gakuvo」からの助成金を使用しております（後述）

## ○その他の活動

### 日本財団学生ボランティアセンター Gakuvo（ガクボ）に関して

前項にありました Gakuvo は、学生によるボランティア活動などの社会貢献活動を支援及び、活動を通して成長する学生を応援する事業です。

団体の活動領域に応じて 3 つのコースがあり、ストリートチルドレン芸術祭は、その中の C コースの Baca・Vo（ばかぼ）に今年度も応募しました。

一次では書類審査、二次ではプレゼン審査があり、今年度もそれらの審査を通過し、支援金 10 万円をいただきました。支援金受け取り後も、ホームページでの活動経過報告や、全体の活動報告会などが行われます。

支援金 10 万円は、先に記しました、12 月に行われたカンボジア・スタディツアーでの現地の子どもたちへの支援物資、また私達の活動において必要な備品の購入に使用しました。

## 5. 2016年度会計報告

収入の部		支出の部	
1、カレンダー売上	¥1,918,100	1、カレンダー制作費	¥623,700
2、協賛	¥125,000	2、ポスター制作費	¥8,748
3、助成金	¥100,000	3、支援金	¥500,000
4、寄付金	¥39,807	4、イベント費	¥19,637
5、前年度繰越金	¥2,499,310	5、郵送費	¥37,158
当期収入合計	¥4,682,217	6、印刷費	¥7,170
		7、事務所・事務消耗費	¥9,727
		8、交通費	¥293,260
		9、手数料	¥6,886
		10、HP 管理料	¥17,388
		当期支出合計	¥1,523,674
		残高	¥3,158,543

### 【協賛金】

- ・なかむら歯科 様 100,000 円
- ・EM ネット千葉 様 25,000 円

### 【助成金】

- ・ガクボ 100,000 円

### 【支援金】

- ・チベット子ども村【TCV】（インド）
- ・愛センター（カンボジア）
- ・モンゴル支援ネットワーク【IVNMC】（モンゴル）
- ・子どもたちの希望の家（インドネシア）
- ・エクマットラ（バングラデシュ）

5 か国に 100,000 円ずつ寄付金が送られました。

### ○2017年寄付先予定

2017年の寄付先は、2017年版チャリティカレンダーの絵の募集先である、インド（ダラムサラ）、インドネシア（バリ島）・カンボジア・ベトナム・ザンビア・モンゴル・バングラディッシュの7カ国7施設に寄付金を届けることを予定しております。

## 6. おわりに

2016年度はストリートチルドレン芸術祭発足から12年目、東北福祉大学が参加してから10年目の活動となりました。東日本大震災の2011年から事務局機能を大学に移転してからも6年目を迎えました。

この活動をこれまで続けてくることができたことに感慨もひとしおです。これもチャリティカレンダーを購入していただいたり、寄付金をくださったりして応援して下さるた



くさんの方々がいらっしゃるおかげです。販売会で声をかけてくださる方々がたくさんいらっしゃいます。学生たちは温かい気持ちに触れ、やりがいを強く感じて活動に勤しむことができます。また、活動を支えてくださる協賛企業のみなさまは、協賛金にとどまらず、子どもたちの原画を使った展示会も開催してくださるなど、この活動の情報発信にもご協力いただいています。そして、積極的に世界中の子どもたちの絵を手配し、送ってくださっている世界各地の支援団体のみなさま、厳しいスケジュールにもかかわらず学生たちの活動を温かく見守ってくださる印刷関係のみなさま、そしてスタディツアーや新入生へのカレンダー配布等でお世話になっている東北福祉大学当局の関係者のみなさまにも、心より感謝申し上げます。

冒頭の代表からのごあいさつにもありますように、2017年度に向けてすでに活動は始まっています。みなさまからの変わらぬご支援を賜ることができましたら幸いです。今後とも引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

2017年4月吉日  
ストリートチルドレン芸術祭事務局 生田目学文

〈連絡先〉 [charity@tfu-mail.tfu.ac.jp](mailto:charity@tfu-mail.tfu.ac.jp)  
〒981-8522 仙台市青葉区国見 1-8-1 東北福祉大学・生田目研究室内  
TEL&FAX : 022-301-1260  
HP : <http://www.children-smile.com/>